

資料番号	20010715
差出人	財団法人 骨髓移植推進財団 ドナー安全委員会
受取人	
採取方法	末梢血幹細胞採取
通知区分	緊急安全情報
事例分類	ドナーの有害事象

タイトル	非血縁者間末梢血幹細胞採取施設(新規)の認定申請をお考えの先生方へ
本文	当法人は、非血縁者間末梢血幹細胞採取ドナーの利便性向上・安全確保及び患者救命の観点からコーディネート期間短縮を目的に、採取施設不足地域に対して新たに認定施設を設置することを重点課題として取り組んでおります。

別紙タイトル	
別紙本文 1	・施設において下記の(1)(2)を満たすこと。(1) 過去に末梢血幹細胞採取術を 30 例以上経験している医師が採取責任医師となること。あるいは過去に末梢血幹細胞採取術を 10 例以上経験している医師が採取責任医師となり、かつ 施設として少なくとも末梢血幹細胞採取術を 30 例以上実行した経験を有すること。
別紙本文 2	本人や家族の病気の治療のために、現在はまだ医療技術としては確立されていない再生医療などに将来利用する場合に備えて、委託契約を結び、保管費用を支払うことにより、さい帯血を保存してもらう事業者です。